



平成28年9月30日

各 位

会 社 名 株式会社マースエンジニアリング  
代 表 者 名 代表取締役社長 松波 明宏  
(コード番号6419 東証第1部)  
問 合 せ 先 取締役常務執行役員管理本部長 佐藤 敏昭  
電 話 番 号 03-3352-8555

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表しました平成29年3月期第2四半期累計期間及び平成29年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 13,800	百万円 2,270	百万円 2,520	百万円 1,610	円 銭 96.37
今 回 修 正 予 想 (B)	11,660	1,830	2,000	1,360	81.43
増 減 額 (B-A)	△2,140	△440	△520	△250	—
増 減 率 (%)	△15.5	△19.4	△20.6	△15.5	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	12,634	2,363	2,636	1,787	102.49

平成29年3月期通期 連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 30,200	百万円 5,600	百万円 6,100	百万円 3,970	円 銭 237.63
今 回 修 正 予 想 (B)	26,200	4,200	4,500	2,900	173.65
増 減 額 (B-A)	△4,000	△1,400	△1,600	△1,070	—
増 減 率 (%)	△13.2	△25.0	△26.2	△27.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	26,442	4,431	4,806	2,995	175.11

平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	8,500	651	2,403	2,033	121.69
今 回 修 正 予 想 (B)	6,880	340	2,000	1,890	113.17
増 減 額 (B-A)	△1,620	△311	△403	△143	—
増 減 率 (%)	△19.1	△47.8	△16.8	△7.0	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	8,266	868	2,588	2,308	132.40

平成 29 年 3 月期通期 個別業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	18,500	1,960	3,910	3,000	179.57
今 回 修 正 予 想 (B)	15,000	720	2,550	2,040	122.15
増 減 額 (B-A)	△3,500	△1,240	△1,360	△960	—
増 減 率 (%)	△18.9	△63.3	△34.8	△32.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	16,807	1,439	3,308	2,598	151.86

## 2. 修正の理由

アミューズメント関連事業の主な販売先であるパチンコ業界は「検定機と性能が異なる可能性のあるぱちんこ遊技機」の回収・撤去が 8 月末に行われ、遊技機の入れ替えが優先となったことにより、周辺設備の投資は先送りとなる傾向が続きました。また、年内までに更なる回収・撤去が予定されており、先行き不透明感からパチンコホールの周辺設備に対する投資意欲は大きく低迷し、買い控えが続いております。

当社グループは他社と製品の差別化を図り、きめ細かいサービスで販売活動を展開してまいりましたが、遊技機撤去等の影響による市場環境は厳しく、個別の売上高及び利益はともに期初の業績予想を下回る見込みとなりました。

個別業績予想の修正に伴い、連結業績予想も修正いたします。

なお、自動認識システム関連事業は、新規顧客の獲得及び新製品の投入等により売上が増加し、計画通りに推移しております。また、ホテル関連事業につきましては、訪日外国人観光客の増加等、好調な観光業界を背景に、認知度が向上して稼働率も上がっており、堅調に推移しております。

配当予想につきましては、期初に公表（第 2 四半期末：1 株当たり 35 円、期末：1 株当たり 35 円）の通り、変更はありません。

(注) 上記の予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等につきましては今後の様々な要因によって上記業績予想数値と異なる可能性がありますので、ご承知おき下さい。

以 上